



2011年9月26日

各位

株式会社ツヴァイ  
代表取締役社長 宮武 正容  
(コード番号 2417 東証二部)  
管理本部長 後藤 喜一  
(電話 03-3519-7401)  
当社の親会社 イオン株式会社  
取締役兼代表執行役社長 岡田 元也  
(コード番号 8267 東証一部)

## 業績予想に関するお知らせ

当社は、2012年2月期第2四半期(累計)(2011年2月21日～2011年8月20日)の業績予想について、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想について

2012年2月期第2四半期(累計)業績予想数値

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—
今回発表予想(B)	1,810	48	67	2
増減額(B-A)	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2011年2月期第2四半期)	1,933	192	212	131

#### 2. 業績予想の理由

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復傾向にありましたが、2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響による企業の生産活動の低下や個人消費の冷え込みなどにより、厳しいものとなりました。その一方で「家族の絆」や「人とのつながり」が見直され、「結婚」という「新たなつながり」についても再確認されております。

このような環境の中、当社は、中期経営計画に基づき、SCへの店舗出店などの「既存事業の再構築」、価値観による新しいマッチングの仕組みの活用などの「新しい事業・サービスの開発」、タイ王国への進出準備を実施した「アジアへの進出」に取り組んでまいりました。

その結果、新規入会者数は、第1四半期に東日本大震災による影響が一部にあったものの、当第2四半期累計期間では前年同期比111.0%となりました。

しかしながら売上高につきましては、会員に提供したサービスに応じて売上が計上されるビジネスモデルのため、新規入会者の増が売上に反映されるまでには時間がかかること、また、東日本大震災の被災エリアの会員様の安否確認の過程で268名の会員様に対して活動を一時休止する対応をしたことによる月会費収入の減少等で、第2四半期累計期間の売上高は18億10百万円（前年同四半期比6.3%減）となる見込みです。

利益につきましては、5月以降積極的な販促策を実施したことによる広告宣伝費の増加や新規入会者数の増加に伴う事務コストなどの売上と費用の計上時期のズレが発生したこともあり、営業利益は48百万円（前年同四半期比74.7%減）、経常利益67百万円（前年同四半期比68.4%減）、四半期純利益は資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額37百万円と災害による損失10百万円の計上により、2百万円（前年同四半期比97.9%減）となる見込みです。

通期の業績予想につきましては、直近の第2四半期会計期間の新規入会者数が前年同期比118.1%と大幅に増加し、売上高の原資となる前受金残高が増加していること、また会員数が増加傾向に転じていることから、2011年6月28日に発表しました業績予想に変更はありません。

以 上